

命ノ輝ク

HIKARE

～光れ～



新生会広報誌

vol.9

令和4年7月発行



社会福祉法人 新生会

1 社会福祉法人新生会 法人本部事務局

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1
電話：019-611-0242 FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設「新生園」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地
電話：019-697-6831 FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設「第二新生園」

〒028-3617
岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地
電話：019-697-8011 FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設

「みちのく療育園メディカルセンター」
〒028-3623
岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地
電話：019-611-0600 FAX：019-611-0601

5 多機能型施設「ワークセンターむろおか」

〒028-3625
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地
電話：019-697-6856 FAX：019-611-1666

エコレストランあいのの

〒028-3605
岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地
電話：019-681-0304 FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所「あさあけの園」caféあさあけ

〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2
電話：019-697-6537 FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所

「障害者地域生活支援センター しんせい」

電話：019-697-3300 FAX：019-601-2826

紫波地域障がい者基幹相談支援センター

電話：019-601-2805 FAX：019-601-2826

〒028-3614
岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所「新生ホーム」

・室岡ホーム・見前ホーム・中島ホーム・第二中島ホーム

〒028-3625

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9

電話：019-611-1199 FAX：019-601-2380

中長期計画の推進を期して



常務理事
鈴木 長幸

本年4月1日より、常務理事を拝命いたしました。「第二新生園」ならびに「あさあけの園」在職中は、利用者・ご家族の皆様、そして、関係機関、地域の皆様に大変お世話になりました。改めまして厚く御礼申し上げます。

社会福祉法人新生会は来年、設立40周年の節目を迎えます。新たに作成した中長期経営計画(令和3年度～令和8年度)では「利用する誰もが自分らしく活動できる施設づくり」「地域の困りごとを支える組織づくり」「どの世代も生き生きと働く職場づくり」「みんなで築く明るい法人づくり」の各テーマを掲げて取り組みを始めております。その着実な推進が課せられた役割と受け止めており、中でも、施設設備の改善、就労事業の充実、地域公益的役割等の前進に微力ながら努力したいと思っております。

法人理念の実現に向けてこれまで歩み、築かれてきた財産を継承しながら、障がいのある方々を取り巻く諸環境の変化を的確にとらえる目を持ち、利用者様をはじめ地域に満足していただける福祉サービスの向上に一層努めて参る所存です。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

法人本部事務局



事務局長
金子 仁

過般は、法人内施設でクラスターが発生し、利用者様をはじめ、関係する皆様方にご迷惑とご心配をおかけしたことについてお詫びするとともに、法人の対応についてご理解をいただいたことに改めて御礼申し上げます。

法人ではコロナ禍にあって、各拠点の皆さんが感染予防と事業継続に向け努力をしている中、本部が関連情報を一元的に発信し情報とリスクの共有を図ってきました。また、令和2年から法人独自のガイドライン(指針)とチェックリストを作成し、状況に応じて更新してきました。

そうした中、今回のクラスターでは、多くのことを学びました。法人のガイドラインとチェックリストは状況に応じて見直しをしてきたつもりではありましたが、オミクロン株発生後の爆発的な感染者増は、当初の想定をはるかに超えるものとなっています。また、お子さんを持つ職員の勤務自粛が続く中での業務支援や入所系利用者様が感染した際の対応など、もう少し具体的なシミュレーションが必要ではないかと考えています。

本部は、法人内施設のサービスを安心して受けられるよう今後も感染予防に関する情報を発信しますので、関係者の皆様方からの情報提供をお願いします。

「子育てサポート企業」として

令和4年6月3日(金)、岩手労働局で基準適合一般事業主認定通知書をいただきました。

基準適合一般事業主認定【くるみん認定】とは、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けた証です。

岩手県で認定を受けているのは当法人を含めても40数社のみという、とても貴重な認定です。職員の皆さんに安心して子育てと仕事を両立できる環境を整えること、そして持続・向上させていくように、これからも取り組んでいきます!!

【くるみん認定】



令和4年度新卒職員紹介



新生園

生活支援員
佐々木 駿



みちのく療育園
メディカルセンター

生活支援員
高井 唯菜

Vol.11で特集予定です。

ごあいさつ



施設長
稲邊 宣彦

輪転機の音とインクのおいが漂う印刷作業室、奥の部屋ではパソコンの画面に向かい静かに入力や編集作業に取り組む利用者さんの姿があります。クリーニング作業室では大型の洗濯機や乾燥機の音のなか、洗濯物の仕分けやプレス作業に手際よく取り組んでいます。就労継続支援B型の仕事風景です。

生活介護の軽作業室ではBGMが流れる中、裂き織りやウェスづくり、マット織りやクリスタルストーン選別に取り組んでいます。リハビリ活動や塗り絵、手芸など、余暇活動に取り組む姿もあり、ゆっくりと時間が流れています。入所者37名と通所者8名、利用者の皆様の日中活動の様子です。

新生園は来年(令和5年度)創立40周年を迎えます。利用者さんご家族、地域や関係者の皆様に支えられながら作り上げてきた新生園です。これからも法人の理念「輝く命」の下、利用者の皆様一人一人の思いを大切に、ご本人やご家族の満足度アップと地域ニーズに応えるサービス提供に努めてまいります。

栄養士として 1年を振り返り

新生園に入職して一年、これまでを振り返ってみました。嗜好調査の結果や検食簿などの意見を普段の食事や行事食に活かし、喜んで頂ける食事提供に努めました。

そのなかで「お刺身が食べたい。」と要望が多数あり、今年の元旦昼食は、刺身の盛合せ、茶わん蒸し、練切り、雑煮を提供しお正月を感じていただきました。

また、新型コロナ感染症関連で、厨房職員が勤務できなくなることを想定し、職員が一人で食事提供が可能な食品(湯煎・自然解凍で食べられる食品)3日分を感染症対策備蓄用として業者に発注・保管していただいております。実際に3月に使用しなければならぬ事態となりましたが、スムーズに提供することができ、備えておく事の大切さを感じました。



環境と福祉の連携 ペットボトルリサイクル活動

矢巾町が進めている環境と福祉の連携(環福連携)の取り組みとして、新生園とワークセンターむろおかで資源ごみのリサイクル活動に取り組んでいます。町内の集積所に出された資源物を町の収集業者が回収し、園に搬入してもらい、分別を行い資源回収業者に引き渡しています。

新生園ではペットボトルの仕分け作業に取り組んでいます。隔週で運ばれてくる大量のペットボトルのラベルやキャップが外されているか確認、分別しフレコンバック(大型土のう袋)に入れる作業を行っています。試行の取り組みではありますが、たくさん量をさばいた達成感があり、リサイクルの大切さや環境にやさしい生活について考えながら楽しく行っています。



クリーンアップ作戦 展開中

高齢化対策の骨粗しょう症予防から始まったクリーンアップ作戦は、日光を浴びて体を動かすことを目的として昨年より実施しています。「散歩に行きましょう」の声がけだけでは、参加される利用者さんが少なく、施設周辺のごみ拾いもプラスし目的をもって取り組む事で参加者が増えました。コロナ禍で外出がままならない状況もあり、外の空気に触れ心と体もクリーンアップしています。



花壇に彩り

昨年度は、秋にチューリップの球根を利用者さん一人ひとりが鉢に植え、春にきれいな花が咲きました。第二弾として、土が痩せ雑草に覆われていた花壇を耕し、マリーゴールドやサルビアの苗を植えました。「同じ色を並べる、いや交互に・・・」利用者さん同士で会話をしながら、彩りよく植えられ、園庭が明るくなりました。



障害者支援施設 第二新生園

第二新生園は、施設入所支援事業39名、生活介護事業68名、
就労継続B型事業13名の利用者の皆様と共に、新年度スタートしました。
利用者の皆様の笑顔輝く様子を届けられるような1年にしていきたいと思ひます。

日頃よりいただいておりますご理解、ご支援に感謝申し上げます。
第二新生園は、会話が難しい方も多くいらっしゃいますので、利用者さんの声、利用者さんの意思をくみとるよう取り組んでおります。
昨年度も外泊を控えたり、行事参加を見合わせていただいたりご家族のご理解とご協力を得ながら新型コロナウイルス感染防止のために努めました。
また、行事内容を縮小した中でも利用者の皆様が楽しんでいただけるよう職員が知恵を出し工夫しました。
これからも利用者の皆様が健康で、安心、安全な暮らしをしていただけるよう努め、地域の中の第二新生園の役割を考え、担っていきたく思ひます。
そして、利用者の皆様に寄り添いながら、職員が楽しいと思える職場になること、より笑顔があふれる施設になることを目指していきたく思ひます。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。



施設長
芳賀 淳

施設入所支援



晴れた日に
ちょっとそこまでお散歩



第二新生園の桜満開



毎月楽しみな誕生会



ちゃーぐちゃーぐうーまっこー

生活介護、就労継続B型



散歩の途中でゆったり
ミニピクニック



WINS 本宮様の
花壇作業

就労継続B型から お知らせ

利用者の皆さんが 心こめて育てた野菜たち

夏に向けて野菜の収穫シーズンが始まります。
毎年当園での直接販売や、
法人各施設で出張販売を行っています。



主なラインナップはこちらです。

7月上旬から本格的に収穫開始

ナス、ピーマン

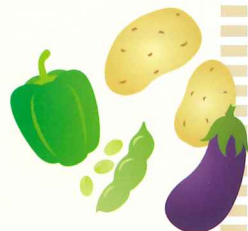
7月下旬から8月上旬に収穫開始&販売予定

枝豆

8月中旬から収穫予定

じゃがいも

※収穫状況、販売情報、値段については今後ブログで発信していきます。
ぜひ、チェックしてみてください。



ブログにて新しい情報を発信しています！
第二新生園ブログ(2022年度)

<http://www.i-shinseikai.jp/publics/index/403/>

QRコードからも読み取れます





施設長
小山 耕太郎

令和4年4月1日、当施設は、名称を「みちのく療育園メディカルセンター」と改めました。平成13年7月1日の開設以来、重症心身障がい児者とご家族の支援施設として、地域における福祉と医療のさまざまな事業に参画してまいりました。

この間、医療と介護の進歩を背景に、利用者様の成人期への移行と高齢化が進んでいます。成長や加齢に伴い変化する生活を、意思決定を含めて、総合的に支えるケアシステムが求められます。医療面では、加齢とともに骨粗鬆症と易骨折性のリスクが高まる他、呼吸器系や循環器系、消化器系の疾患、さらには腫瘍性疾患の管理が重要となっています。また、家庭や保育所、学校など、日常生活において、人工呼吸器や胃ろう等を使用し、喀痰の吸引や経管栄養などの医療的ケアを常に必要とする方々が増加しています。特に岩手医科大学附属病院の矢巾移転に伴い、多くの医療的ケア児者とご家族が紫波地域に居住するようになり、相談対応や情報の収集と発信、関係機関との連絡調整など、支援の充実が必要です。

全国的に重症心身障がい児者の施設名称が、「医療福祉センター」や「医療療育センター」、「療育医療センター」等へ変わる中、地域の皆様に愛されてきた「みちのく療育園」の名前を活かした上で、その歩みを持続可能な形でさらに進め、福祉と医療、保健、教育、労働の連携により、新たな社会的課題に柔軟に対応してまいります。

チャグチャグ馬っこが 来たよ～

久しぶりにチャグチャグ馬っこが
来てくれました。



来たぞ来たぞ～
わくわく♪



ろくく ふうむ
六来ママと風夢くん親子♡
風夢くんはなんと生後1か月。



ばいば～い
またきてねー



距離をとってのふれあいでしたが
久しぶりの馬っこに利用者の皆さん、
いい表情を見せてくれました♡

花いっぱい運動

矢巾町主催の「花いっぱい運動」に参加しました。
緑あふれる美しいまち、和といたわりと希望のま
ちを目指したこの活動。花があふれる地域づくりに
一緒に参加でき嬉しく思います。

マリーゴールドとサルビアの花苗を植えました。
園庭が賑やかになりました。

利用者の皆さんと一緒に水やりをしましたよ。とっ
てもいい笑顔でした。

コロナ禍でちょっと沈んだ気分も
お花で癒されますね。



日頃より、「ワークセンターむろおか」へ温かいご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

当事業所は平成16年4月に新生園の通所部としてスタートし、その後の平成19年6月には障害者自立支援法のもとサービス提供を開始しております。日々、就労移行支援事業、就労継続支援B型事業、生活介護事業、就労定着支援事業の各サービス提供において利用者方が自身の個性を発揮できるように寄り添いながらご対応させていただいております。活動環境においても現状に満足することなく、更なる安心できる場を確保できるように工夫しながら進めています。また、余暇支援等の行事も随時開催させていただき、利用者方に積極的にご利用いただいております。

今後も、より慎重に感染症等に対応しながら、利用者方の活動の場として法人理念の「輝く命」のもと努めてまいります。また、地域の一員として貢献していくことも目的に活動して参りますので、皆様には引き続きお声がけいただきますよう宜しくお願い申し上げます。



施設長
山内 雄幸

事業所 紹介

ワークセンターむろおかでは毎月サークル活動を行っています。今年度は、利用者の皆さんから事前アンケートを取り、「やってみたいこと、行ってみたいところ、食べてみたい料理」などについて沢山の意見をうかがい、少しでも多く反映したいと考えて活動予定を決めました。

7月は職員と利用者さんの懇談会、11月は映画鑑賞、2月はカラオケとミニコンサートなどなど、毎月皆さんが楽しく過ごしていただけるようなイベントを考えています。毎日の作業で疲れた体を、サークル活動に参加していただいでリフレッシュできたらいいなと思いつつ、職員もアイデアを出し合って企画しています。

昨年度の活動の様子



カラオケに合わせて踊ったり、ビンゴ大会をしたり、買物にも行きました。
今年も思い出を作っていきましょうね☆



施設長
寺山 美紀

令和4年4月1日付けで、あさあけの園の施設長の職務を担うことになりました寺山美紀と申します。精一杯務めさせていただき所存でございますのでよろしくお願いいたします。

当施設は、平成29年に施設を改築し、就労継続支援B型事業と生活介護事業を併用した定員30名の多機能型事業所としてスタートしてから5年目を迎え、現在35名の方が利用されています。コロナ禍によりイベント開催の中止や縮小などで、菓子、パンの販売に少なからず影響を受けましたが、各企業様からのご支援により様々な受託作業をさせていただきことで、幅広い作業を維持、提供することができ作業場は活気にあふれています。生活介護を利用されている方には、個々のニーズに沿った活動を提供していますがその中で、作業を希望する方には軽作業などへの参加を支援しています。

あさあけの園の理念である『明るく・楽しく・元気よく』利用者の皆さんが毎日通いたくなる施設であるようサービスの質の向上に努めると共に、地域貢献ができるよう努力してまいります。

就労継続支援B型



「クールビズ、始めました。」

とは言っても、食品作業時はしっかりと長袖。その他の作業では、TシャツOK！でも、帽子はしっかり被って髪の毛混入防止。作業の品質は落としません。

「花巻広域公園へ、行ってきました。」

人混みを避けての、余暇外出。感染対策のために制限はあるけど、おいしい食事に魚釣りゲーム、ダーツなどをみんなで思いっきり楽しみました～！



生活介護

「畑～！」

青空の下、今年も野菜の苗を植えました。そして・・・みんなで祈ります。



「おおきくな～れ！」

収穫が、楽しみです。



「音楽鑑賞タイム～！」

音楽は、心のオアシス。自分の好きなアーティストのCDを持ち寄ってノリノリ～！好きな音楽を楽しむため、感染対策マナーは守ります。マスクは必着、その他モロモロ。準備が出来たら、日頃のストレス発散。



みんなで、レッツダンス～！

障害者地域生活支援センターしんせいは、今年度も大きく3つの柱を中心に取り組みを進めていきます。一つ目は障がいに関する地域のワンストップの相談支援事業所としての役割を果たすこと(相談支援)、二つ目は障がい福祉サービス利用する際に必要とされているサービス利用計画作成を行うこと(計画相談)、三つ目は紫波町と矢巾町から委託されている紫波地域障がい者基幹相談支援センターの役割を果たすこと(支援者支援、地域作り、地域住民への啓もう活動ほか)です。

最近の傾向として、相談件数の増加、相談内容の複雑化があげられ、地域の関係機関の皆様との多職種連携による支援を必要とする事案が非常に多くなっています。今後もこの地域で生活する障がいがある方及びご家族の皆様にとって安心できる相談機関であるとともに、地域の皆様に「障がい」のことを知っていただく取り組みや地域の人材育成・支援体制作りの役割も果たしていきたいと考えます。当センターのこれらの取り組みにつきましては、随時ブログで紹介させていただきたいと思います。令和4年度もどうぞよろしくお願いいたします。



所長
田代 拓之



iPad(アイパッド)の活用、進化しています

しんせいには2台のiPadがあります。コロナ禍のなか法人全体で整備されたものです。ご本人、ご家族や事業所とのオンライン面談、支援会議などに活用しています。

自分専用のiPadを持っている職員から紹介された「Apple Pencil(アップルペンシル)」を使ってみました。タブレットの画面にさらさら書けます。指で画面をスイスイ送って、まだまだ書けます。オンラインと同時に画面半分にノートを出すと相手の顔を見ながら話を聞きながら画面にメモをとれます。素晴らしい機能で驚きます。まだまだ使い道がありそうでわくわくします。

しんせい職員の紹介



今年度も
よろしくお願いいたします。

共同生活援助事業所 新生ホーム

ごあいさつ



所長
廣田 秋彦

日頃より新生ホームご利用者様、ご家族の皆様、関係各位には温かいご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。この度、令和4年4月1日付けで、佐々木所長の後任として共同生活援助事業所新生ホーム所長に就任いたしました、廣田と申します。

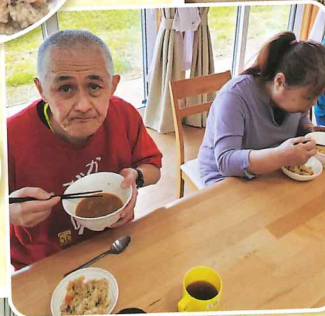
今までは新生ホーム支援課長として勤務してまいりました。新生会にお世話になり20年が経ち、これまでに多くの利用者の皆様、先輩方にいろいろのことを学ばせていただきました。多くの方に支えられ、今日があると思っております。

所長という職責の重大さに戸惑っておりますが、職員一丸となりご利用者様、ご家族の皆様が安心して過ごせるグループホームを目指していきたいと思っております。

今後ともご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

今年の遊生会スタート!!

今年度、1回目の「遊生会」、6月4日にお楽しみ昼食会を
中島ホーム、第二中島ホームで行いました。
メニューは炊き込みご飯、担々麺、フルーツポンチでした。
6月12日には室岡ホームで行いました。
メニューは炊き込みご飯、たまごスープ、トマトカレー、
サラダ、ヨーグルトムース
美味しいととても喜んでいました☆
利用者様、職員、大満足の昼食会になりました。
今年度も遊生会行事として余暇支援していきます。



【令和3年度】社会福祉法人 新生会 決算報告

◎貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	873,765,549	流動負債	140,551,181
固定資産	2,561,723,272	固定負債	271,392,568
		負債の部合計	411,943,749
		純資産の部	
		基本金	351,764,846
		国庫補助金等特別積立金	456,373,273
		その他の積立金	286,573,500
		次期繰越活動増減差額	1,928,833,453
		純資産の部合計	3,023,545,072
資産の部合計	3,435,488,821	負債及び純資産の部合計	3,435,488,821

◎事業活動計算書 (令和3年4月1日~令和4年3月31日) (単位:円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益	1,449,455,066
	サービス活動費用	1,381,019,325
	サービス活動増減差額	68,435,741
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	2,933,567
	サービス活動外費用	768,962
	サービス活動外増減差額	2,164,605
経営増減差額		70,600,346
特別増減の部	特別収益計	18,800,178
	特別費用計	14,805,425
	特別増減差額	3,994,753
当期活動増減差額		74,595,099
繰越増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,910,425,354
	当期末繰越活動増減差額	1,985,020,453
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	0
	その他の積立金積立額	56,187,000
	次期繰越活動増減差額	1,928,833,453

【令和3年度】社会福祉法人 新生会 苦情・要望 対応状況

令和3年度、各事業所にお寄せいただいた苦情・要望の総数は、苦情7件、要望9件でした。

種類	件数	職員の対応	サービスの内容	施設の設備・環境	説明・情報提供	その他
苦情	7	2	0	0	3	2
要望	9	1	8	0	0	0

※詳細に関しましては、新生会ホームページをご覧ください。

昨年度に比べ、苦情・要望共に件数が減っています。各事業所では、「相談箱」や「お願い箱」等のネーミングで日頃から利用者様の声をお聴きし、施設運営に活かしています。これからも、お寄せいただいた苦情・要望を真摯に受け止め、事業所内で情報を共有、丁寧な説明を行うことで解決に努めてまいります。

HIKARE ~光れ~ インフォメーション



「かき氷、始めました！」

暑い夏は、やはり「かき氷〜！」イチゴにメロン、ブルーハワイ！ グレープもあり、各種150円で販売中です。他にパンやクッキー、ロールケーキにアップルパイなどを取り揃え、皆様の御来店をお待ちしております。

エコレストラン あいのの

お客様感謝Day

イベント企画

2022年

- 4/29(金) 昭和の日 → 昭和を振り返った方限定 (昭和の思い出を持ってきた方限定 (駄菓子、メロン等))
- 5/8(日) 母の日 → お母さん限定 ※母さま、お喜ぶてください。
- 6/19(日) 父の日 → お父さん限定 ※「父さま」と言ってください。
- 7/7(木) 七夕 → 七夕にお願いする方限定 七夕飾り、ゆし型のものをお持ちの方限定
- 8/11(木) お盆 → お参りしたいと思ってる方限定 うちわ持参した方限定
- 9/10(土) 十五夜 → 月見したい気分の方限定 月見酒持参した方限定
- 10/20(木) 紅葉狩り → 秋を見つけた方限定 紅葉した葉をお持ちの方限定
- 11/23(水) 勤労感謝の日 → 皆さんが疲れすぎです!! 注文時、感謝の言葉をかけてくれた方限定
- 12/9(金) 贈り物の日 → 贈りものごときをありがとう!人限定 商品をもっと知ってほしい方、税込550円です。

2023年

- 1/〇〇 今年最初の営業日 → ホチキス持参の方限定 ※ご注文時、ご提示ください。
- 2/11(土) 建国記念日 → 国を愛する人限定 国旗、国歌のもの持参の方限定
- 3/3(金) ひな祭りの日 → 女性の方限定 ※「ひな祭りです」とお声がけください。

日替わりランチ 550円(税込)

※すべて、ご注文時に自己申告でお願いたします。

当番 〇月△日 せいちゃん

編集後記

今回のHIKAREはページを増やし、各施設の情報が盛沢山の特別号にいたしました。お楽しみいただけましたでしょうか。コロナ禍でも各施設では工夫を凝らし、法人理念である「輝く命」の実践に努めています。今後も利用者さんとたくさん笑い合える日々を過ごすため、withコロナ奮励努力で取り組んでいきたいと思っております。

詳しい情報は、ホームページで

社会福祉法人 新生会

<http://www.i-shinseikai.jp/>

